



会員だより

(今回は、東京都からご寄稿をいただきました。なお、この会員だよりはホームページにも掲載いたします。)

東京都交通局

相互直通運転に対応した浅草線ホームドアの運用開始について

～地下鉄初 QR コードを用いたホームドア開閉制御技術の導入～

東京都交通局では、ホームでのお客様の転落、列車との接触などの事故を防止するため、都営地下鉄全線へのホームドア整備を進めています。

私どもが保有する地下鉄4路線のうち、ホームドアが未整備である都営浅草線については、2023年度までに交通局が管理する全ての駅へのホームドア整備を完了することを目指しております。

2019年10月末現在、新橋駅についてホームドアの運用を開始しており、都営浅草線のホームドア制御については、交通局と株式会社デンソーウェーブで共同開発した QR コードを用いたドア開閉連動技術を地下鉄で初めて採用しておりますのでご紹介します。

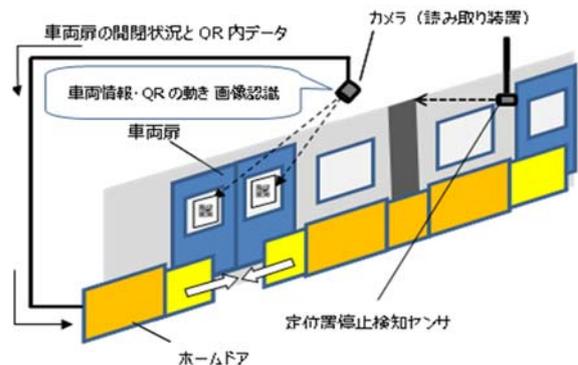


都営浅草線は、複数の鉄道事業者による相互直通運転を行っており、車両の編成数や扉の数が異なる様々な列車が運行されています。このため、ホームドアの設置に際して車両ドアとホームドアを連動させるための無線装置などを乗入れるすべての車両に搭載する必要があり、多くの経費と時間がかかってまいります。

そこで、車両の改修を必要としない QR コードを用いたドア開閉連動技術を採用し、これらの課題を解決しました。



QR コードを車両ドアに貼り、ホーム上のカメラ（読み取り装置）で車両ドア数、編成車両数などの情報や QR コードの動きを検知します。そうすることで、車両ドアの開閉に合わせてホームドアを開閉します。



東京都交通局では、浅草線リニューアルプロジェクトの特設サイトにおいて、ホームドア整備の PR 動画を配信しています。ぜひご覧ください。(プロジェクト HP)

https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/special/asakusa_renewal/index.html